

# 高岡市文化財総合的把握モデル事業」

高岡市教育委員会文化財課



勝興寺本堂 重要文化財)



## 高岡市歴史文化基本構想（素案）の概要

| 項 目                                                                                                                                   | 内 容                                                                                                        |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1部 高岡市の文化財 編<br>序 章 はじめに<br>第1章 高岡市の概要<br>第2章 高岡市の歴史と文化財<br>・文化財の悉皆的調査<br>・歴史<br>・文化財<br>・歴史と文化財の特性<br>第3章 文化財の総合的な把握<br>・文化財の総合的な把握 | ・構想策定の背景や目的、位置付けなど<br>・社会環境、自然環境、施策の現状など<br><br>・悉皆的調査の目的、手法、結果など<br><br><u>・関連文化財群及び歴史文化保存活用区域の考え方の提示</u> |
| 第2部 保存・活用計画 編<br>第1章 総論<br>第2章 <u>文化財の保存・活用方針</u><br>・調査研究の充実<br>・適切な保存管理<br>・周辺環境との一体的な保全<br>・人材育成の継続 など                             | ・保存・活用に際しての基本理念や方針<br>・ <u>個別の文化財のみでなく、関連文化財群の考え方も踏まえた上で、項目ごとに文化財の保存・活用の方向性を提示</u>                         |



| 項 目                                                                                                       | 内 容                                                                                                                                        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第3章 文化財の総合的な保存・活用<br>第1節 関連文化財群<br>・関連文化財群の設定<br>・ <u>関連文化財群の保存・活用計画の構成</u><br>・ <u>関連文化財群の保存・活用計画の骨子</u> | <b>9つの関連文化財群の提案（次頁参照）</b><br>・ <u>関連文化財群の保存・活用計画の構成を提示（関連性、価値、現状と課題、活用方向等）</u><br>・ <u>関連文化財群ごとに、保存・活用計画の骨組みを提示</u><br>→ <b>詳細な計画は今後策定</b> |
| 第2節 歴史文化保存・活用区域<br>・区域の設定<br>・区域の保存・活用の構成<br><br>・区域の運用施策の骨子                                              | ・4つの区域の提示<br>・区域の現状や課題、特徴の把握。保存活用の方針を提示<br>・上記事項を踏まえた上で、考えうる運用施策を提示<br>→ <b>詳細な計画は今後策定又は他計画へ反映（風致維持向上計画やその他公共事業計画など）</b>                   |

## ● 関連文化財群(案)

- 商工業の町・高岡を支えた工芸文化と流通に関わる文化財群
- 高岡御車山祭と祭りを支える職人文化に関わる文化財群
- 高岡鋳物の生産技術と工芸品に関わる文化財群
- 散居村の景観に関わる文化財群
- 菅と菅笠づくりに関わる文化財群
- みなと町伏木の交流と物流に関わる文化財群
- 勝興寺と寺内町に関わる文化財群
- 信仰に関わる文化財群
- 越中国府に関わる文化財群



山町筋の街並み 商家群、御車山の舞台)







## II. 保存・活用計画

### 大切にすべき価値は何か

#### ■藩政期由来の商工業都市としての骨格を示す

前田利長・利常による都市の骨格の形成と流通システムの構築は、高岡が商工業の町としての繁栄を続けた要因の一つであるといえる。高岡の中心地であり商工業都市として発展した高岡城下町や、流通・往來の拠点となった周辺部の集落、藩の財政を支えた穀倉地帯、これらの地域を結ぶ陸路・水路など、藩政期に築かれた都市の骨格は、その姿を変えながらも現代に確実に引き継がれている。これらの諸要素が、一つの文化財として価値をなしていることを認識し、今後も一体的に継承しその価値を示していく。

#### ■高岡開町の祖・前田利長を敬う心を伝える

前田利長が治めた高岡城下町時代は短かったが、残された町人達に受け継がれた利長への畏敬の念は、現在も寺社や祭礼行事、工芸品等、市域の人々の営みと生活空間に脈々と受け継がれている。また、次代利常によって建立された瑞龍寺や利長墓所は、高岡開町の祖である利長を偲ぶ心の象徴としてこの地に刻まれているものである。この精神性を本関連文化財群の根本的なテーマの一つとして位置付け、構成文化財の保存・活用にあたる。

#### ■商工業都市の気風を受け継ぐ要素を守る

藩政期以来、商工業都市としてのものづくりの文化を醸成してきた高岡では、現在も銅器や漆器、金工技術等、優れた伝統工芸技術が受け継がれており、人々の誇りの中には商工業都市の気風を垣間見ることができる。技術の粋を集めて生み出された様々な作品群とともに、国内外との積極的な技術交流を経て製品の水準を高めてきた高岡ならではのものづくりの気風を後世に伝えていく。

### 現状と課題

#### ■中心部と周辺集落の関係性と開発の進行について

本関連文化財群は、構成文化財が市域の広い範囲に分布している点特徴的である。特に、旧城下町を中心として、かつての流通の中継を担った集落が街道や河川を介して縦横に結ばれている様子は、藩政期以来の都市構造が目に見える形で示されている例である。これらの周辺集落には、現在も旧城下町同様多くの歴史的要素が残されているが、一方でその一体性を損なうような開発がルールの定まらないまま急速に進められつつある。各集落が持つ歴史的な特徴を踏まえ、快適な生活空間と歴史文化が共生する方策を考えていく必要がある。

#### ■高岡中心部の都市の一体性の回復について

本関連文化財群の核となる高岡中心部の歴史的街区は、高岡城跡（古城公園）が中心をなす旧城下町の区域から、瑞龍寺・前田利長墓所界隈にかけての広がりを持つ。しかし、現在は道路や鉄道によって南北に分断されており、現状では藩政期に計画された都市空間として感じる事が困難となっている。市民や来訪者に高岡の歴史とその価値を分かりやすく伝えるために、歴史的背景に基づく都市の一体性を何らかの方法で示すことが必要である。

#### ■伝統工芸技術継承の連携体制の構築について

伝統工芸技術を継承し、後世に伝える試みは既に数多く行われているが、依然として後継者不足の問題は大きい。今後の課題として、これらの技術を継承する人材を育成することに加え、育った人材が活躍できるフィールドを開拓していく試みが同時に求められている。官・学・民による取り組みを一過性のものとせず、連携体制の強化を進め、高岡市全体が長期的に目指す取り組みへと育てていくことが求められる。

### どう守り育てるか

#### ■学ぶ

・市域に分布する集落に残された文化財が、その地域性や藩政期時代に与えられた役割の違いにより異なる点に注目し、商工業と流通のストーリーに沿ったまちあるきと文化財マップの作成を市民とともに行う。

・伝統工芸技術を継承する人材育成を継続的に実施していく。工芸技術の若手を育てるための技術講習会を継続して実施し、現在取り組んでいる様々な取り組みを通して、より多くの人々に伝統工芸技術の価値と継承の意義を伝え、実践的な工芸技術に触れる機会づくりを行っていく。

#### ■知らせる

・都市計画の一体性を醸し出す要素として、道や用水等、線的な文化財の活用に着目し、城下町の計画と深く関わる街道や、流通ルートとして計画された街道の特徴や歴史性など、都市の計画性の一端を体験しながら学んでもらう機会を作る。

・伝統工芸技術の継承に関わる取り組みや発表の情報を、高岡全体で共有できるような連携体制を構築していく。（日々の生活や観光、イベント等高岡の文化に触れるための情報が集まるポータルサイトの整備を進めていくことも検討する。）

#### ■活かす

・構成文化財に挙げている歴史的建造物や町並みを、高岡の商工業の歴史と特徴を分かりやすく伝える要素としてみなし、その連続性を損なわないような保存・活用を行う。



## 歴史文化保存・活用区域設定の考え方

### ○設定の必要性

歴史的関連性だけでなく、地域一体で文化的な空間を創出している地区については、景観事業や都市整備事業などが実施される際に、その文化的空間に相応しいものが実施されるべきであることから、区域を設定する。

### ○設定の条件

- ・関連文化財群や個々の文化財の集積度が高い地区
- ・地域一体で保護をしていくべきであると考えられる地区

